

作成日: 2006年6月16日

改訂日(V.6): 2011年1月14日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: ストライド顆粒水和剤

会社名: 日本農業株式会社
 住所: 〒103-8236 東京都中央区日本橋 1-2-5 栄太楼ビル
 担当部門: 環境安全部
 TEL. 03-3274-1887, FAX. 03-3281-5462
 e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

休日の連絡先: 04-2929-8961 (A L S O K)

用途及び使用上の制限: 農薬(殺菌剤)、農薬登録以外の使用は不可

MSDS番号: 513-55(M06-15)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	区分3
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2 A
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(腎臓、呼吸器系)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
 吸入すると有毒
 重篤な眼への刺激
 発がんの恐れ
 臓器(呼吸器系)の障害の恐れ
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器(腎臓、呼吸器系)の障害の恐れ
 水生生物に毒性

注意書き

【予防策】

- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- 粉塵、ガスを吸入しないこと。

- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 必要な時以外は環境への放出を避けること。

【対応】

- 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- 気分が悪い時は医師の診断を受けること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合：清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

【保管】

- 容器を密閉して、涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた、専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：N-(パラフルオロフェニル)-ジクロロマレイミド
(一般名 フルオリミド)

成分及び含有量

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
フルオリミド	75.0%	41205-21-4	既存物質	(5)-125
〈その他〉				
石英(結晶質シリカ)	2.51%	14808-60-7	既存物質	(1)-548
			安衛法通知対象物	
アルキルベンゼンスルホン酸塩	1.5%	25155-30-0 7757-82-6	—	(3)-1884, (1)-501
		化管法第一種指定化学物質		
鋳物質微粉等	残	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせる。付着部を水と石鹼でよく洗浄する。異常がある場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合：清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：カップ1～2杯の水を飲ませる。医師の診断を受ける。意識の無いときには口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火時の注意： 消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。高温により発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤： 粉末、泡沫、炭酸ガス、水
使ってはならない消火剤： 情報無し。

6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、粉塵やガスを吸い込まないようにする。漏出物を密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気の良い場所で行う。かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意する。適切な保護具を着用し、粉塵を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管： 容器を密封し、換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。
防塵マスク、保護メガネ、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋
作業時に着用していた衣類等は、他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観、臭気： 淡褐色細粒
比重： 0.6~0.8(見掛け)
pH： 6.0~8.0/20°C(20%水懸濁液)
引火点： データ無し。
自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の実験条件では安定。
危険な反応： 知られていない。
有害な分解物： 燃焼すると有害なガス(HCl、HF、NO_x、他)が発生する。

11. 有害性情報

急性経口毒性： ラット LD₅₀ 値(mg/kg) ♀ >2000(死亡例及び中毒症状無し)
急性経皮毒性： ラット LD₅₀ 値(mg/kg) ♂, ♀ >2000(死亡例及び中毒症状無し)
急性吸入毒性(粉塵、ミスト)： 1%以上含まれる成分で毒性情報のあるものは、区分3のフルオリミドのみであることから区分3とした。毒性未知成分量は22%。
皮膚刺激性： ウサギ 軽度の刺激性あり。
眼刺激性： ウサギ 中程度の刺激性あり(14日後に回復)。
感作性： モルモット 陰性

発がん性： 区分1 Aに分類される石英を、カットオフ値の0.1%以上含有することから区分1とした。毒性未知成分量は19.4%。

特定標的臓器毒性(単回暴露)：

区分1(呼吸器系)に分類される石英を、区分2のカットオフ値である1%以上・10%未満含有することから区分2(呼吸器系)とした。毒性未知成分量は97.5%。

特定標的臓器毒性(反復暴露)：

区分2(腎臓)に分類されるフルオリミドをカットオフ値の1%以上含有する。また区分1(呼吸器系、腎臓)に分類される石英を、区分2のカットオフ値である1%以上・10%未満含有することから、区分2(腎臓、呼吸器系)とした。毒性未知成分量は19.4%。

12. 環境影響

水生環境有害性(急性)：区分2

コイ LC₅₀ 値/96hr 6.9mg/L

オオミジンコ EC₅₀ 値/48hr 2.5mg/L

緑藻* EbC₅₀(0h-72h) 34mg/L、ErC₅₀(0h-72h) 73mg/L

* *Selenastrum capricornutum*

13. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
空容器：内容物を使い切った後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

15. 適用法令

農薬取締法

労働安全衛生法

通知対象物(法57条の2)：シリカ(政令番号312)

化学物質排出把握管理促進法

指定化学物質：アルキルベンゼンスルホン酸塩(第一種・政令番号30)

16. その他の情報

参考文献：JIS Z 7252 2009, GHSに基づく化学物質等の分類方法

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。